



平成23年度の活動について



5月31日 第1回協議会

平成22年度の事業結果報告、平成23年度の事業計画について協議し、利用促進策の実施、おでかけマップの更新、地域フォーラムの開催について決定しました。

11月29日 第2回協議会

市民代表、交通事業者、行政で、鉄道沿線別公共交通利用環境WGを開き、利用促進策の実施内容について協議した結果報告を行いました。WGでは次のような成果があげられました。

JR・東武鉄道沿線公共交通利用促進WG

電車・バスの結節機能の強化するため、東武鉄道新鹿沼駅東口のロータリーに公共交通利用案内板を設置することにしました。

真岡鐵道沿線公共交通利用促進WG

真岡鐵道茂木駅において、デマンドタクシーの利用促進を図るため、利用環境整備を行うことにしました。

2月13日 茂木町地域フォーラム

- ・名 称 新たな公共交通とまちづくり
～山間地域における公共交通の在り方と可能性～
- ・日 時 平成24年2月13日（月）
- ・場 所 茂木町 茂木町民センター 別館ホール
- ・内 容 基調講演「新たな公共交通とまちづくり」
講師 宇都宮大学大学院准教授
森本 章倫 氏
- ・参加者 120名

《フォーラム会場の様子》



基調講演において、人口減少社会においては「都市間交通戦略」と「地域内交通戦略」の2つが必要である。茂木町のデマンドタクシーは利用率が全国平均の2倍近くあり、地域内交通の好例といえる。今後は新交通システムなど都市間交通についても検討していく必要があるとのことをお話をいただきました。



利用環境整備実施結果

JR・東武鉄道沿線公共交通利用促進策

東武鉄道新鹿沼駅東口ロータリー及びJR鹿沼駅前にリーバス・路線バスの運行経路図、観光施設、デマンド交通利用案内を記載した案内板を設置し、鉄道、リーバス、路線バス、デマンドタクシーの結節機能の強化をしました。



《新鹿沼駅案内板》



《JR鹿沼駅案内板》

真岡鐵道沿線公共交通利用促進策

真岡鐵道茂木駅にデマンド交通「めぐるくん」の案内板を設置し、鉄道、路線バス、デマンドタクシーの結節機能の強化をしました。



《茂木駅案内板》

2月23日 第3回協議会

利用促進策や地域フォーラムの実施結果、おでかけマップの更新、来年度の協議会の方向性について報告しました。

来年度も引き続き、利用促進策として共通ロゴマークの作成、先進地視察の実施、おでかけマップの更新、地域フォーラムの開催を行うことに決定しました。

また、協議会が設立して7年経過し、各市町がデマンド交通を運行させる等、設立当時からは状況が変わってきたことから、協議会のあり方について来年度に見直しを行うことも決定しました。